

緊急的な事故防止対策の実施について

1 逆走事故を防止！

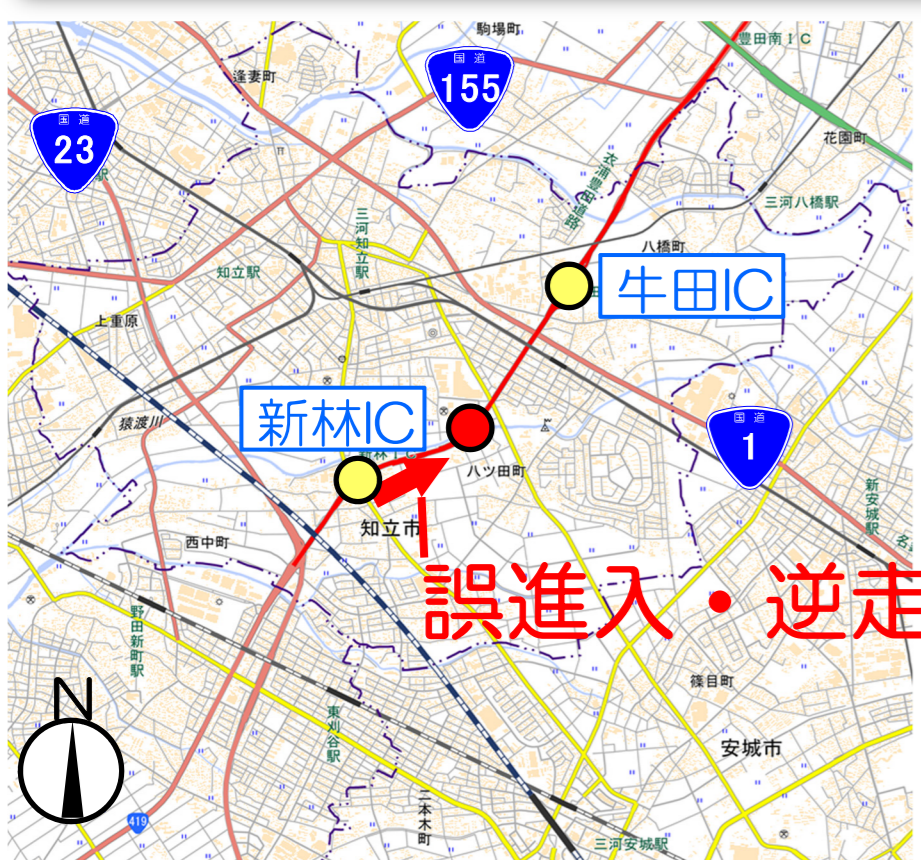
概要

■全国的に高速道路の逆走事故が問題となっている中、愛知県内の衣浦豊田道路（H29.5.10）及び国道23号（H29.5.18）で、連続して逆走が原因と考えられる事故が発生した。

■このため、逆走事故防止に向け、交通管理者と道路管理者による緊急合同点検を実施し、連携して対策工事等を推進することとした。

名古屋国道事務所 交通対策課 久野 辰也

1.愛知県内の逆走事故



逆走事故事例1：衣浦豊田道路（愛知県管理）



逆走事故事例2：国道23号知立BP（国交省管理）

日時：平成29年5月10日AM6:02頃
 場所：衣浦豊田道路 牛田IC～新林IC間 下り
 概要：新林ICオフランプから乗用車が誤進入し、下り線を逆走。軽自動車と正面衝突し乗用車を運転していた91歳の男性が死亡、軽自動車の運転手が軽傷をおった。

日時：平成29年5月18日AM1:15頃
 場所：国道23号高棚福釜IC～高棚北IC間 上り
 概要：高棚福釜ICオフランプから乗用車が誤進入し、上り線を逆走。4tトラックと正面衝突し乗用車を運転していた78歳の男性が死亡、トラック運転手が軽傷をおった。

2.緊急点検の実施・逆走事故対策の検討

緊急合同点検実施

愛知県内で高架道路を逆走する事故が相次いだことから、愛知県警と道路管理者（国土交通省、愛知県、愛知県道路公社、名古屋市）による緊急合同点検を実施。

緊急合同点検実施期間：5月末～6月上旬



緊急合同点検の実施状況

- オフランプからの誤進入による逆走事故の防止を目的として、県内の一般国道、主要地方道を中心に点検。
- インターチェンジやパーキングエリア等の合計152箇所について、6月9日までに点検を実施。

緊急合同点検箇所数	
道路管理者	点検箇所数
国土交通省	76箇所
愛知県	34箇所
愛知県道路公社	36箇所
名古屋市	6箇所
計	152箇所

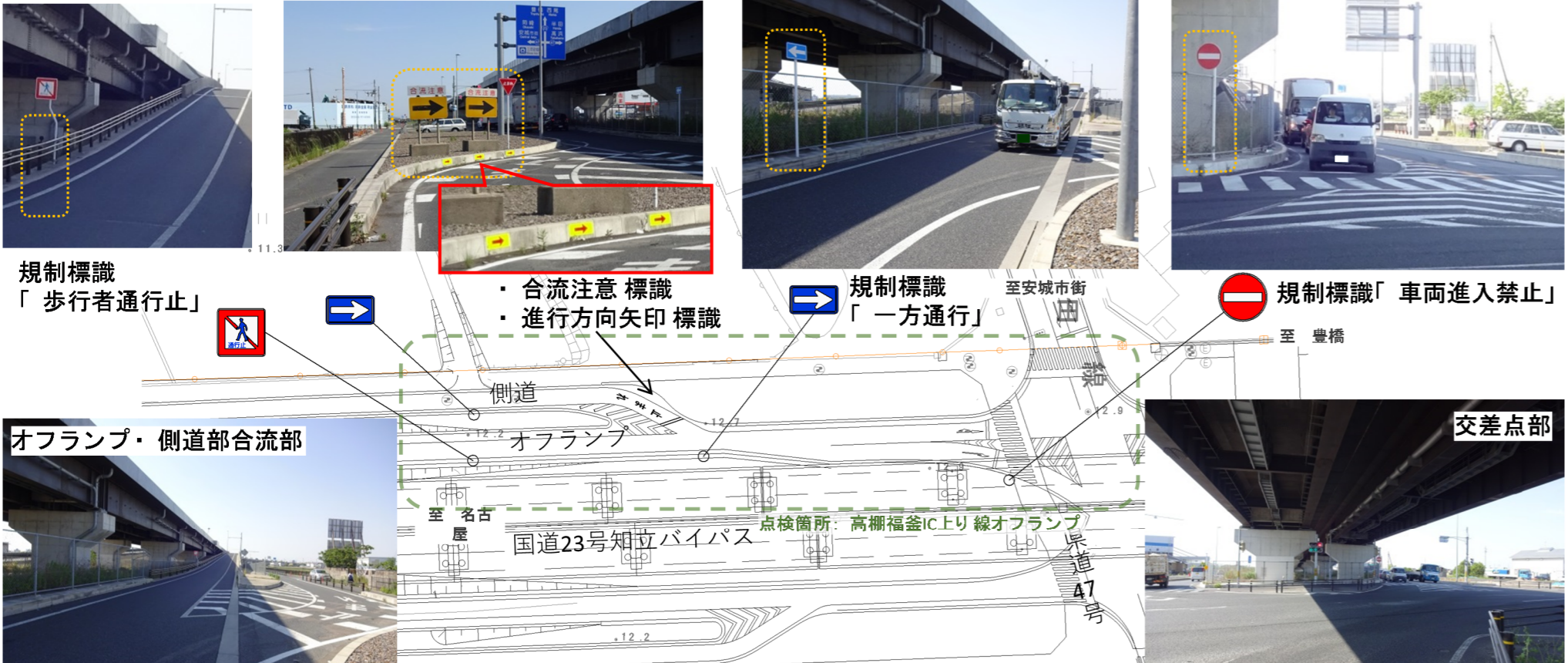
※ NEXCO中日本、名古屋高速が管理する道路については、従前より対策実施中

逆走防止対策が十分に講じられているか

国道23号知立バイパス 高棚福釜IC緊急点検の概要

- 点検日：平成 29年5月22日（月）
- 出席者：愛知県警安城警察署、愛知県道路維持課・知立土木事務所、国交省名古屋国道事務所・岡崎国道維持出張所
- 点検結果：
 - ・交差点に「車両進入禁止」、ランプ部に「一方通行」の規制標識が設置されており、法令上必要な標識は設置されているが、これらについて、視認性を高めるために大きさや設置位置等の工夫ができないか検討
 - ・誤進入防止対策として、より分かりやすい進行方向への誘導表示や、誤進入しにくくするための構造的な対策を検討

【現状の標識・標示等】



連絡会議実施

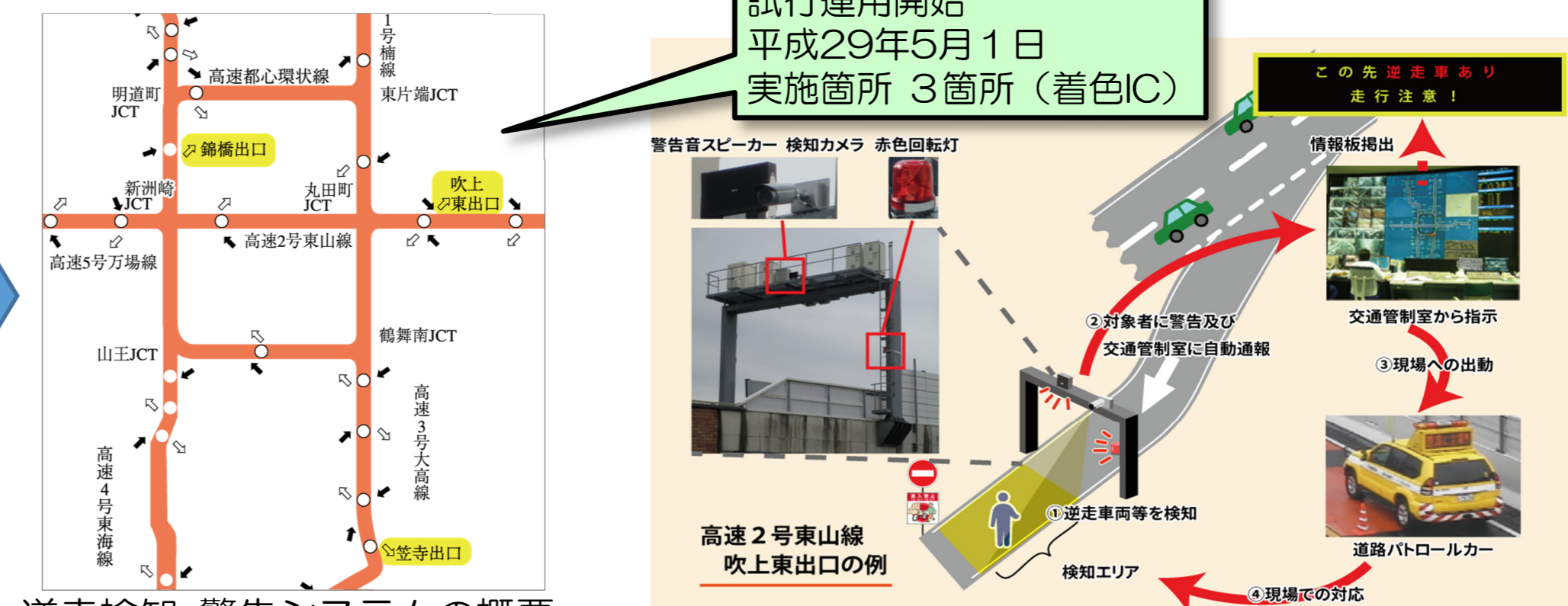
「愛知県道路交通環境安全推進連絡会議(平成29年6月8日)」を開催し、対策方針等について意見交換を行った。



所属機関
国土交通省
愛知県警察
愛知県
愛知県道路公社
名古屋市
名古屋高速道路公社
中日本高速道路（株）

名高速の対策事例【名古屋高速資料より】

「逆走検知・警告システム」により、高速出口からの逆走、誤進入事案を交通管制室で早期に発見し、愛知県警高速道路交通警察隊と連携して迅速に事案対応することで、重大な事故を未然に防止します



逆走検知・警告システムの概要

- ①逆走車両等を検知
 高速出口の検知エリアで、検知カメラにより、逆走車両・誤進入者を検知します。
- ②対象者に警告及び交通管制室に自動通報
 赤色回転灯の発光と 警告音スピーカーからの警告 「進入禁止です、戻って下さい」により注意を促します。警告と同時に、交通管制室に自動通報されます。
- ③現場への出動（交通管制室から指示）
 現場確認のため、愛知県警高速隊と連携して、道路パトロールカーやパトカーが出動します。また、本線走行中のお客様への注意喚起として、道路情報板に「この先逆走車あり走行注意」を掲出します。
- ④現場での対応
 警告に気づかず進入した場合、道路パトロールカーやパトカーにより、速やかに対象者を保護します。



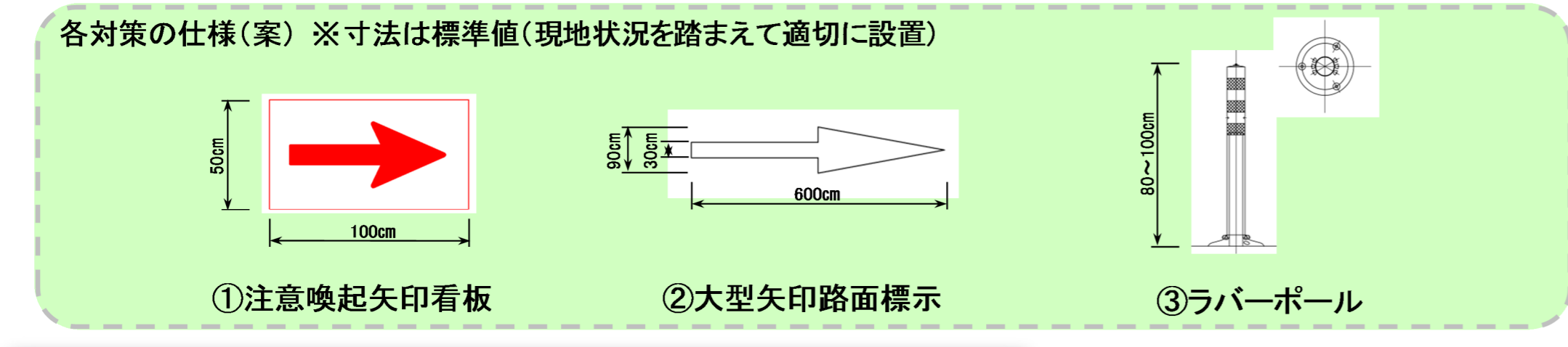
2 逆走事故を防止!

緊急的な事故防止対策の実施について

3. 逆走事故対策について

【基本的な考え方】
 ○ より分かりやすい進行方向への誘導を目的に、『①注意喚起矢印看板』、『②大型矢印路面標示』を設置
 ○ 構造的に誤進入し難くすることを目的に、『③ラバーポール』を設置

【国土交通省対策方針】



対策方針〈対策内容〉

- 法令上必要な規制標識等の視認性を向上させるため、**老朽化した標識の更新のほか、標識の大きさ等について、道路構造に依って改善を図る。【警察】**
- ドライバーを適切な進入路(進行方向)へ誘導するため、**看板や路面標示等でより分かりやすい案内誘導対策を実施する。【道路管理者】**
- 構造的に誤った方向に入れないようにする対策も有効と考えられることから、**ラバーポール等の設置など、インターチェンジ等の構造に応じた対策を実施する。【道路管理者】**
- 高齢者が当事者となる逆走事故が多発したことも踏まえ、**逆走事故防止に向けた効果的な広報啓発活動を実施する。【警察・道路管理者】**

4. 逆走事故対策の実施状況

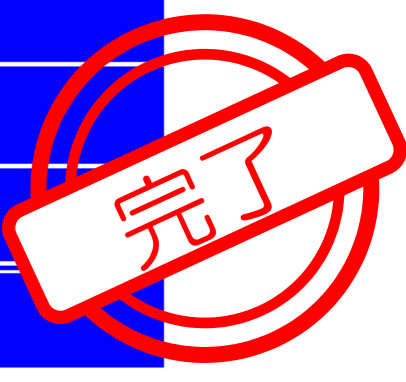
逆走事故対策の実施状況のまとめ

・ 逆走事故対策133箇所実施

道路管理者	逆走事故対策点検必要箇所	逆走事故対策必要箇所
国土交通省	76	62
愛知県	34	33
愛知県道路公社	36	36
名古屋市	6	2
計	152	133

※19箇所については、合同点検の結果、逆走事故対策は講じられている

- ・ 逆走事故対策必要箇所は全て対策済
- ・ 対策後、逆走に起因する事故は発生していない



国道23号における逆走対策工の実施例

【国土交通省】

- オフランプからの誤進入を防止するために交差点部、ランプ・側道接続部に、ラバーポール、注意喚起看板、大型矢印路面標示を設置
- これらの対策を基本に、各交差点で緊急点検を踏まえて対策を検討し、工事を実施

【愛知県道路公社】

阿久比パーキングエリア流入部

【名古屋市】

点検箇所	対策内容
1 名古屋高速 吹上東IC	区画線再設置
2 名古屋高速 吹上西IC	(対策不要)
3 名古屋高速 春岡IC	(対策不要)
4 名古屋高速 四谷IC	(対策不要)
5 名古屋高速 六番北IC	(対策不要)
6 国道23号 共和IC	区画線再設置

【愛知県】

国道247号 東海IC (東海市)

国道247号 加家IC (東海市)

【愛知県警察】

注意喚起看板の設置

指定方向外進行禁止標識の増設

広報啓発活動の実施状況 (リーフレット作成・配布)

□ 道の駅でのリーフレット配布活動では、警察・道路管理者が連携し、主に高齢ドライバーに対して交差点での通行方法や標識の意味などについて丁寧に説明



道の駅「にしお岡ノ山」での啓発活動 (平成29年9月28日)

作成したリーフレット

□ 一般道も含めた逆走防止対策としての啓発リーフレットを作成し、**これまでに道の駅・市町村(役所)等で約22,000部を配布**

NEXCO中日本の広報・啓発活動の実施状況
 ~ NEXCO3社統一逆走防止啓発広報 ~

① テレビCM (12/25~31)
 ② 新聞広告 (12/25)

平成30年度 広報活動

H30年4月13日内津PA
 における交通安全啓発活動

交通安全を祈願し号令をあげる参加者

ドライバーへのリーフレット配布

H30 引続き啓発活動推進